

3学年「つくばね学発表会」が行われました！

3年生による1年間のつくばね学実習等の成果をまとめた「つくばね学発表会」が、12月2日に「市民ホールつくばね」において、つくば市教育委員会 門脇厚司 教育長、茨城県高校教育課高校教育改革推進室 柳橋常喜 室長、茨城県高校教育課生徒指導推進班 高野太一 班長の来賓の方々をお招きして行われました。

3年生は、昨年度の2学期以降毎週金曜日の午後の授業において、学校周辺の保育所・小学校・特養老人ホーム・文化財保護団体・酒造場などの各施設で1年間にわたる実習を行い、社会性やコミュニケーション能力をはじめとする「人間力」の向上を目指す取組を行ってきており、今回のつくばね学発表会は、これまでの1年間の実習の成果を、生徒たち自身の手によるプレゼンテーションとポスターセッションにより発表するもので、筑波高にとっても初めてのプロジェクトです。

当日は、1・2年生だけでなく、来賓の方々以外にも実習先の事業所、近隣の中学校や高校の教員の方々にもご来場いただき、大変暖かい雰囲気の中で発表することができました。発表は各グループ別に行われましたが、スライドだけでなく、動画やインタビューも織り込まれているなど創意工夫が感じられるもので、発表した3年生は緊張しながらも一生懸命発表を行い、盛大な拍手を受けていました。

また、第1部と第2部の間にはポスターセッションが行われ、3年生が1・2年生、来場者の方々に実習の内容や成果などについて直接説明する姿も見られました。

開会式での生徒会長3年小黒杏さん（竹園東中出身）の想いを込めた挨拶や、最後に3年生全員が登壇して、3学年生徒代表メッセージの島田大輝さん（筑波西中出身）に合わせてお礼の言葉を述べる3年生の姿にも、これまで成長が感じられました。

この発表会の成果は、現在つくばね学実習を行っている2年生へと引き継がれていきます。後に続く1年生も、来年度はつくばね学実習がスタートします。今回の発表会は、つくばね学が筑波高にとって伝統あるものとなっていくことも実感できた、大変有意義な行事であったと思います。



2学年「沖縄修学旅行」について

2学年の修学旅行が、12月10日～13日の日程で行われました。修学旅行は3泊4日の日程行われ、首里城、平和記念公園の見学、民泊、タクシー班別研修、国際通り見学などの内容で予定通り実施されました。生徒たちは、最高気温20℃を超える暖かな沖縄での修学旅行を満喫し、笑顔あふれる思い出深い学校行事となりました。

修学旅行の主な行程は以下の通りです。

- 12月10日（日） 学校発、羽田空港発、那覇空港着、首里城公園、民泊体験
- 12月11日（月） 農村家業体験、平和祈念公園、入塚体験
- 12月12日（火） タクシー研修
- 12月13日（水） 国際通り、那覇空港発、羽田空港着、学校着



筑波高伝統行事「百人一首大会」が行われました！

筑波高の伝統行事である「百人一首大会」が1月12日に行われました。大会は、クラス代表選3名による団体戦をトーナメント方式で行う百人一首競技部門と、クラス全員によるクラス対抗の百人一首カルタ取り部門で実施されました。大会の冒頭には、筑波大学歌留多部による迫力と緊迫感のある競技実演とその解説があり、午後には百人一首に関するクイズ大会なども行われ、伝統行事にふさわしい充実したものとなりました。特に、3年生にとっては、筑波高での最後の学校行事ということもあって、大変思い出深いものとなったと思います。

